

---

# 空のお散歩

山菜歩

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空のお散歩

### 【Nコード】

N1904H

### 【作者名】

山菜歩

### 【あらすじ】

空が大好きな少女「空」<sup>そら</sup>「小さい頃から「空を飛ぶ」という夢をずっと持っている、少々夢見がちな、ごく普通の女の子。夏休みを迎えたある日、宿題をやっていた時の事だった・・・。

私の大好きなもの：空。

そんな性格は、名前にも反映している。

ううん。そんな名前だからそういう性格になったのかもしれない。

そう。私の名前は「空<sup>そら</sup>」。

名前の読み方を変えて「くーちゃん」と呼ばれる事もある。

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

私が大嫌いなもの：お勉強。

今は夏休み。

せつかくのお休みなのに、お勉強なんてしたくない。

子供は風の子、元気の子。

昔からそう言われているのに。

” いったいお勉強しなさい ”

ママはそう言う。

” お勉強して何になるの？ ”

” いい学校に入って、いい会社に入るのよ ”

.....

私はそんな「当たり前前の」将来に興味がなかった。

私にはひとつの夢があった。

”空を、飛んでみたい”

これが私の小さい頃からの夢。

ピーターパンのお話が好きで、空を飛べるようになった子供達が羨ましかった。

黒服の魔女の女の子が主人公のお話しも好きで、実際におばあちゃんの家置いてあったホウキにまたがって「飛べ！飛べ！」って念じたこともある。

鳥になりたい人が集う番組も、毎回欠かさず観ている。

どうやったら、空を飛べるんだろう・・・？

窓の外を見た。

庭に植えてある木々が、ざわざわと葉擦れの音を立てて枝を揺らす。さんさんと輝く太陽の光が、葉っぱの間から風に合わせて、ゆらゆらと水面のように揺れる。

外は雲ひとつない、いい天気。

青い空には鳥さん達が気持ちよさそうに空を飛んでいる。

鳥さん達、いいなあ・・・。

鳥になりたい人が集う番組に出演しようかなあ・・・。

でも、お勉強しないとできなさそうだしなあ・・・。

シャーペンを転がしながら、取りとめのないことを、ずっと考えていた。

そらを、とべたらなあ・・・。

・・・

・・・

・・・

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

気が付いたら、私は空中にいた。

”え・・・?”

ちよつとだけスカートの裾を気にしながら、周りを見回す。

眼下には、赤い色の私のお家の屋根。

回りは見慣れた住宅街。

ママが近所の奥さん達と”いどばたかいぎ”をしてる。

ふわふわと浮かんでいるだけかなあ? 「もっと速く飛んでみたい」

と思ったら・・・

”きゃああああっ!?”

ぐんつと急加速して、ツバメさんみたいに飛べた。

”止まってええええっ!”

急停止する。危うく電柱にぶつかるどころだった。

”ああ、びっくりした”

私は胸を押さえる。

空を見上げ、「雲に触ってみたいなあ。もっと高い所に行きたいな

あ」って思ったら・・・。

風船のようにふわりと浮かび上がることができた。

ああ、自分が思った通りに飛べるんだ。

よおし!

くるりと空中バク転一回、私は飛び初めた。

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

気持ちいい・・・。

私、空を飛んでる！鳥になってる！

高層ビルの間を飛び回り、パパがいる会社を探してみたり。

雲の間を縫って飛び回り、学校のお友達の家を探してみたり。

鳥さん達と競争したり、雲の上に乗ってみたら、落っこちそうになつたり・・・。

（後で知ったんだけど、雲って水滴の集まりだったのね）

風を切り、雲を抜けながら、私は「空のお散歩」を満喫する。

ひとときわ厚い雲を抜けた先には・・・。

（うわぁ・・・）

青い空をそのまま映したような、青い海が目の前に広がった。

潮騒の音に混じって、かもめさんの鳴き声が聞こえる。

私も仲間に入れてもらって、一緒に風に身を任せた。

風に乗って空を滑り、「低くなってきたかな？」と思ったらまた浮かび上がって・・・。

一羽のかもめさんが、急に海に向かって急降下した。

（何だろう？）

私はその様子を見守る。

急降下したと思ったら、またこっちに戻ってきた。

口には魚をくわえている。

鮮やかなかもめさんの技に、私は思わず拍手をした。

楽しい時間って、あっという間に過ぎちゃうんだよね。

気が付いたら、もう夕方。

最後に、夕日に向かって、行けるところまで飛んでいって見た。

夕日色に染まった雲と海に名残惜しさを感じつつ、私はお家に帰ろうとした。

早く帰らないと、ママに怒られちゃう。

私の部屋に帰ってみると・・・。

あれ・・・？

何で私がいるんだろう???

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

私は机の上でうとうとと眠りこけていた。

何だぁ、夢だったのかぁ・・・。

.....

.....。

でも。

風を切る感覚、浮かんでいる感じ、そして景色を観た感動は、夢とは思えないほどリアルだった。

はらり

私の肩から、木の葉が落ちた。

お庭の木の葉っぱだ。

何で着いているんだろう・・・？

ふと、机においてある鏡を見る。

わぁ！髪の毛がぐしゃぐしゃ！？

寝てただけなのに、何で？

私はひたすら混乱するばかりだった。

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

外を見ると、すっかり夜になっていた。

満天の星が散りばめられている。

そして、目の前の机には、絵日記が開かれている。

お勉強ばかりしていて何も書くことがない、一番頭の痛い課題。

「くーちゃん！」

友達の声が聞こえた。

あ、今日天体観測の日だったっけ・・・。

”空ちゃん、お友達が来たわよ”

ママの催促に、私は出かける準備を済ませて・・・ちよっと思いとどまった。

・・・  
・・・よし！

今度こそ本当に、部屋を出たのだった・・・。

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

空のいなくなつた勉強机には、さっきとは違うノートが置かれていた。

ノートの表紙には「ゆめ日記」と書かれていた。

開けっ放しの窓から、「ごう」と風が吹き込む。

風に吹かれるまま、バラバラと音を立ててノートの紙が踊る。

風がおさまり、開かれたそのページには・・・。

そこには、青い空を飛ぶ少女の姿が描かれていた。

タイトルは「空のお散歩」

f i n . . .

(後書き)

「空のお散歩」

最後までお読み頂き、誠にありがとうございます。

少々解説をしたいと思います。

\*黒服の魔女の女の子が主人公のお話  
ジブリ作品「魔女の宅急便」のことです。

\*鳥になりたい人が集う番組  
言わずと知れた「鳥人間コンテスト」の事です。

「鳥人間コンテスト」を見ている小学生、ってどうなんだろうと一瞬思いました。

(友人に言わせると、「あり得ん」との事です)

\*本当のことを言うと・・・。  
私も空ちゃんと同じく、小さい頃は空を飛んでみたいと思っていた子供でした。

可愛い時代があったものです(苦笑)  
ただ、今でもパラグライダーをやっている人を見ると、「あ、いいなあ」って思います。

空中飛行は永遠の憧れです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1904h/>

---

空のお散歩

2010年10月10日06時57分発行